2021.5 月

補足説明文(JBA 提供の動画資料について)

高瀬健太郎(佐賀県 MC 委員会)

<YouTube>
1_U12 マンツーマンコミッショナー対応事例 ：https://youtu.be/xh2JpMFVVgw
2_U15 マンツーマンコミッショナー対応事例① ：https://youtu.be/n2HveETMGwo
3_U15 マンツーマンコミッショナー対応事例② ：https://youtu.be/Kmxga_XfkMQ
4_U15 マンツーマンコミッショナー対応事例③ ：https://youtu.be/bM4qnmh8YqY

＜注意点など＞

■マンツーマンコミッショナー(MC)に関して経験の浅い方もおられることを想定して補足など記しています。読まれる方によっては、既にご理解されている点もあるかと思いますがご理解下さい。

↓

既にある程度経験のある方については、まずこの補足説明文を読まずにどれだけご自身で理解できるかを確認されることを推奨します。

映像内にも簡易的な説明があります。

↓

基準規則のどこにどんな根拠があるか、もしわからない時は以下参考にして下さい。

■基準規則原文をお手元に準備して併せてお読み下さい。入手方法は 4 月 12 日付でグループ LINE「U12 部会(佐賀県)」でもノートメモ案内しております。
(JBA 公式 HP 内であれば→「関わる・育てる」→「選手育成」→「マンツーマン推進」よりダウンロード可能)
[]内は関連のある基準規則の条文番号です。参考として併記しています。

■＜＞内は映像のシーンとその概要、秒数の目安です。

■今回の動画資料では U15 との比較がされています。

●なぜ U12 と U15 でルールが違うのかについての質問が多数あった

●「U12 はやっているのに U15 は甘い」とのご指摘があるがそもそもルールが違うこと自体が認識されていない

などが挙がったためだそうです。

皆さんの教え子が中学に行ってもバスケを続けることは多いと思いますので、U12 の内容と併せて学んでいただければ有益だと思っています。

■あくまで管見の限りですので、誤りなどありましたらご指摘下さい。

＜シーン１　ノードリブルトラップ（開始～11 秒付近まで）＞
判定:U12×、U15○　［基準規則参考　5-2-5, 5-2-6］

【補足など】

■トラップの 3 要件について
①ドリブル　→　始まっていないので×
②パスが空中にある間　→　完全にキャッチしてから動き出しているので×
③ボールマンとの距離　→　明らかに遠いので×

■U15 ではボール保持者に対しては「全ての場面において」トラップが許される、とあるためこの動画の条件であれば OK となります。
（※マークマンにマッチアップをそもそもしていない、その後のローテーションが明確でないなどは U15 でも当然×）

＜シーン２　トラップ（11 秒付近～30 秒付近まで）＞
判定:U12×、U15×［基準規則参考　5-1-1、7-1-1］

【補足など】

■マークマンにそもそもマッチアップせずにいっている点、またボールをスティールできる距離ではない点において×　映像の説明文の通り

＜シーン３　オフボールディフェンス（30 秒付近～41 秒付近まで）＞
判定:U12×、U15×［基準規則参考　3-2］

【補足など】
■スローアーに背中を向けるのは原則×　映像の説明文の通り

＜シーン４　オフボールディフェンス(ハーフコート）（41 秒付近～51 秒付近まで）＞
判定:U12×、U15×［基準規則参考　3-2］

■マークマンを完全に背中側に回しており、「常に」とらえている状態とは言えない

＜シーン５　オフボールディフェンス(オールコート)（51 秒付近～1 分 5 秒付近まで）＞
判定:U12×、U15×［基準規則参考　3-2］

■マークマンを完全に背中側に回しており、「常に」とらえている状態とは言えない

＜シーン６　トラップ（1 分 5 秒付近～1 分 25 秒付近まで）＞
判定:U12×、U15×［基準規則参考　5-2-3］

■よくあるケースですが、トラップに行く条件自体は成立している(把握している)がその後のローテーション・マッチアップができていないことが挙げられます。
↓
トラップを教えるうえでは、その後のプレイまできちんと教える必要があります。そこまでを理解した上で戦術的にトラップを行うことは限定的に可能、としているのが現行の基準規則であることを十分ご理解ください。

＜シーン７　トラップ（1 分 25 秒付近～1 分 43 秒付近まで）＞
判定:U12×、U15○［基準規則参考　5-2-3、5-2-6］

■シーン 6 同様に、トラップ後のローテーション・マッチアップができていないことが挙げられます。このシーンでいうと、白 10 番はフロントコートまでローテーションで走ることが求められます。もしくは、最初に白 9 番がマークしている子にローテーションする形かと思います(フロントコートから走ってくる子がいない前提)

■U15 ではトラップの要件により OK

＜シーン８　マッチアップエリア（1 分 43 秒付近～1 分 55 秒付近まで）＞
判定:U12×、U15×［基準規則参考　第 1 条･2 条］

■映像では3P ライン(マッチアップエリアの「目安」)がないためわかりにくいですが、エリア内だと考えると×

■仮定としてですが、ボールマンからパスが出る時に反応してトラップに行くことは可能です。ただし、パスの間にハイポストへのトラップが間に合うかどうか、またパスが出なかった際には速やかにマッチアップに戻る必要があります。

＜シーン 9　トラップ（1 分 55 秒付近～2 分 7 秒付近まで）＞
判定:U12×、U15×［基準規則参考　5-2-4、7-1-1、20-2-2 など］

■よくある形ですが、オールコートでのディフェンスを行う場合はスローアーにも基準通り（最大でも 1.5m 以内）にマッチアップする必要があります。

■この形から白 10 番がサイドのプレーヤーを挟みに行くこと（オフボールトラップ）も当然、×です。また、スローアーから距離を取っていることでパスカットしやすくなるなどの面も発生してきます。

■もし上記のような状況でスティールが起きた場合、黄色から即（5 秒待たず）赤旗→ストップ→仮にシュートインがあってもノーバスケット、スティール時に戻る　といった処置が考えられます。

＜シーン 10　オフボールディフェンス、トラップ（2 分 7 秒～2 分 20 秒付近まで）＞
判定:U12×、U15×［基準規則参考　5-2-2］

■オフボールでのトラップが認められるのは、制限区域内の限定状況においてのみ。

■これがパスモーションに対して反応してパス間でのトラップ成立を狙ったとしても、パスが出なかった時点でマッチアップに戻らないといけない。

＜シーン 11　オフボールディフェンス（2 分 20 秒付近～ラスト）＞
判定:U12×、U15×［基準規則参考　3-2-1,3-2-2］

■ステイしての首振りは×　マークマンが動いているかどうかは関係ない

■首振りが良い・悪いの基準ではなく、基本は常にマークマンの把握。これは首を振らないと見えない=マッチアップできていない状況とみなします。

■指差しもそうであり、さしている・いないが基準にはならない。あくまで MC から見てマッチアップが明確かどうかで判定します。

ここからは U15 動画資料について

動画 1
説明文がわかりにくいが、説明文の白1番=動画内での白 4 番と思われます。
おそらくは、黒 15 番(ビッグマン)のところをケアしたい
↓
常にインサイドでの数的優位を確保したい
↓
マッチアップではなくインサイド=地域を守っている
かと思います。

動画 2

これは JBA での MC 推進の牧野氏が OK な部分と違反の部分が混在している例、と述べておられました。

OK な部分　ボールマンにトラップへ行くところは U15 のためよい
NG な部分　ボールを追っている画角のため、バックコートにボールがあるときの全体のマッチアップの仕方が把握できないが、基本的にボールがある場所のみを基準にしており、マークマンとの兼ね合いでポジションを決めていないように感じられる。

この動画で確認できる範囲では、36 秒のドライブからコーナーへのスキップパスが出た後、マッチアップせずにただペイント内にいるプレイヤー(九番？) がより明確に違反対象か。

動画 3

U12 の基準で見ると NG だが U15では OK な部分が多くみられる動画。
白1番がすぐにトラップに行く予測なら、OK(U15 では)